

平成23年度

大正大学 教員免許状更新講習のご案内



TAISHO UNIVERSITY

■ 開講日

必修領域

平成23年8月1日(月)、2日(火)

選択領域

平成23年8月3日(水)、4日(木)、5日(金)

■ 場 所

大正大学 巣鴨校舎



申し込み期間

平成23年5月16日(月)～6月30日(木)【必着】

最初に本学HPより(仮)申し込みを行ってください。仮受付後、募集要項を発送します。
定員になり次第締め切ります。

受講対象者

平成23年度に実施する更新講習の受講対象者は、平成24年3月31日または平成25年3月31日に修了確認期限となる免許状を有する現職教員です。

● 受講対象者の生年月日

昭和31年4月2日～昭和33年4月1日

昭和41年4月2日～昭和43年4月1日

昭和51年4月2日～昭和53年4月1日

更新講習の制度や、受講者に関する詳細は、文部科学省教員免許更新制HPをご参照ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm

● 本学では主に小・中・高等学校の現職教諭を対象としています。

受講のキャンセルについて

- ・申し込み後、キャンセルする場合は、至急キャリア教育研究所にお電話にてご連絡ください。
- ・各講習の開始前日までの申し出があれば受講料の全額を返還致します。ただし、受付時間内に限ります。
- ・開講日以降の申し出の場合は、受講料の返還に応じることはできません。

その他 留意事項

- ・申し込み書類は返却できませんのでご了承ください。
- ・駐車場がありませんので、公共の交通機関をご利用ください。
- ・各講習の受講希望者が10名未満の場合は、開講を取りやめることがあります。
- ・公共の交通機関の事故、災害の発生等の不測の事態が発生した場合は、大学の判断により授業開始時間の繰り下げ、または授業を中止する場合があります。不測の事態が発生した場合は、キャリア教育研究所までお問い合わせの上、開講の有無を確認してください。
- ・昼食は、学生食堂をご利用ください(営業時間：11時～14時予定)。

お申し込み・問い合わせ先

大正大学 教務部 教務課・キャリア教育研究所

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1

受付時間 平日(月～金) 10:00～11:50
12:20～18:00
(土) 10:00～11:50
12:20～16:00

休業日 日曜、祝日

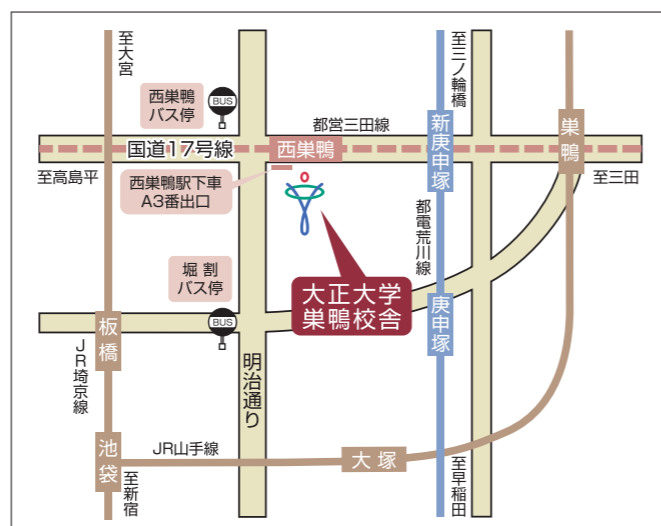
* 夏期休暇中(平成23年8月4日～9月15日)
は大学ホームページ等でご確認ください。

<http://www.tais.ac.jp/>

✉ shien@mail.tais.ac.jp

電話 03-5394-3052(キャリア教育研究所 直通)

FAX 03-5394-3090



■ 公共交通アクセス

- ・JR埼京線「板橋駅」下車徒歩10分
- ・地下鉄都営三田線「西巣鴨駅」下車徒歩2分
- ・都電荒川線「新庚申塚駅」下車徒歩7分
- ・都営バス「西巣鴨」または「堀割」下車徒歩2分

本年度も教員免許状更新講習を開催します。

平成21年4月1日より、教員免許更新制が導入されました。この制度は「その時々で、教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能の修得を図り、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊厳と信頼を得ることを目指す」ことを目的としています。

■大正大学における更新講習について

大正大学は、大正15年に天台宗、真言宗豊山派、真言宗智山派、浄土宗の四宗派によって設立された我が国唯一の仏教連合大学です。設立時から高等師範科が置かれていたように、教員養成（特に中等教員養成）には長い伝統を有しており、今回の免許更新講習につきましても、この伝統のもと、大正大学らしい貢献をしたいと考え、必修領域に加えて、「効果的な言語活動のあり方」「教師のためのフォーカシング」「いのちの教育」という現在喫緊の課題についての講座を開講することといたしました。

更新講習制度の趣旨と本学の更新講習への姿勢をご理解いただき、多くの先生方が受講されますことを願っております。



(教職課程 主任 滝沢和彦)

教員免許状更新講習の流れ

5月16日(月)～6月30日(木)

■(仮)申し込み

WEBより(仮)申し込みをしてください。
(仮)申し込みをされた方に、募集要項を郵送します。各講座定員を定めていますので、(本)申し込みはお早めに。

■募集要項お届け

(仮)申し込み後、7日以上(休業日を除く)書類が届かない場合は、キャリア教育研究所まで連絡をしてください。

■(本)申し込み書郵送・入金

7月5日(火)

■受講許可書お届け

入金確認後、受講許可書、受講証を郵送します。

8月1日(月)～5日(金)

■受講、試験

9:00～17:30 (予定)

9月2日(金)

■修了認定お届け

修了認定の結果については9月2日付で郵送します。



【必修の領域】

講習日	8月1日(月)、2日(火)
講師	渡邊健治 (教育人間学科 教授) 犬塚美輪 (教育人間学科 専任講師) 卯月研次 (臨床心理学 教授) 滝沢和彦 (教育人間学科 教授)
定員	50名
受講料	12,000円

教育の最新事情

必修領域では、「1. 教職についての省察」「2. 子どもの変化についての理解」「3. 教育政策の動向についての理解」「4. 学校の内外における連携協力についての理解」の4つの項目について理解を深めます。受講者には事前にテキストをお送りしますので、ご一読をお願いします。様々な地域から異なる校種の先生方が集まるせっかくの機会です。講習当日は、テキストの内容の確認・補充とともに、受講者が持ち寄り寄る諸問題や諸課題を事例として取り上げ、グループワークも取り入れながら講師を含めた参加者相互の学びあいを重視したいと思っています。

【選択の領域】

講習日	8月3日(水)
講師	犬塚美輪 (教育人間学科 専任講師)
定員	50名
受講料	6,000円

効果的な言語活動のあり方を考える

平成23年度より施行される新学習指導要領では、「言語活動の充実」が目指されています。しかし「言語活動」って何だろう、どうすれば「良い言語活動」ができるだろう、と悩んでいる先生方も少なくないでしょう。そこで、本講習では、「知識や技能の習得を促進し、その活用力を高める言語活動」をテーマに、講義とグループワークを行ないます。講義では、教育心理学の観点から言語活動の意義と意味を捉えなおします。そして、グループワークを通して、学習効果を高める言語活動のあり方について、参加者全員で考えていきます。

講習日	8月4日(木)
講師	日笠摩子 (臨床心理学 教授)
定員	50名
受講料	6,000円

教師のためのフォーカシング

～共感的に話を聴けるようになるために～

「フォーカシング」とはカウンセリングの実践から生まれた自助的な心理的成長促進の技法です。先生方が、自分自身のためにも生徒たちのためにもフォーカシングを活用いただけるよう、体験を通して学ぶ機会を提供したいと思います。フォーカシングとは何かを概観した上で、自己表現のための「こころの天気」の実習や、傾聴の練習としての「話し手に共感を教えてもらう方法」を紹介します。午前は、フェルトセンス(問題や状況についての気になる感じ)から意味を見いだしていく練習を、午後は、そのようなプロセスを促進するような聴き方を学びます。

講習日	8月5日(金)
講師	村上興匡 (教育人間学科 准教授)
定員	50名
受講料	6,000円

いのちの教育について考える

近年、家族や近隣社会の中での殺人やいじめによる自殺などの事件が起こるたびに、学校において「いのちの教育」を行うことの必要性が叫ばれています。いのちの大切さを教えるとはどういうことなのか、何によってそれは可能か、について考えます。いくつかのテーマについて、国内外の実践例や、それらが基づいている理論・背景について解説するとともに、大正大学での同名講義を受講した大学生がどう反応したのかについても紹介します。具体的には「環境」「家族」「死」の3テーマを扱います。スライド、VTRを用い、できる限り双方向で講義を進めたいと考えます。

選択の領域を受講される方は、3講習セットでお申し込みいただくことをおすすめします。定員になり次第締め切ります。